

確認しよう！おくすりについて

1. おくすり飲みすぎているですか？

高齢になると複数の病気を持つ人が増えてきます。病気の数が増え、受診する医療機関が複数になることもくすりが増える原因となります。

くすりの数が増えて副作用が起こりやすくなるので、注意が必要です。

“めまい”“ふらつき”“便秘”“眠気”などの「なんか変だな」、「いつもと違う」と感じたら？



必ず、医師・薬剤師に相談しましょう！



気になる症状があっても、勝手にくすりをやめたり減らしたりするのはよくありません。

ご存じですか？ポリファーマシー??

～多剤服用の中でも害（副作用など）を及ぼすものを特にポリファーマシーといいます。

2. おくすり手帳を使おう！

「おくすり手帳」は医師・歯科医師・薬剤師が薬歴を知ることにより重複投与・相互作用を確認して、薬を安全・適正に調剤し服用していただくためのものです。

また、災害や旅先での急病やケガなどでかかりつけの病院・歯科や薬局に行けない場合にも、薬歴がひとめでわかり、治療に役立ちます。

医療機関に受診するときは、おくすり手帳を提示しましょう！

3. ジェネリック医薬品をご存じですか？



ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、新薬（先発医薬品）の特許が切れた後に製造販売される、新薬と同一の有効成分を同一量含み、効き目が同等な医薬品のことです。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。